

慈光



「朝の坐禅」

延命寺では、毎朝4時50分から坐禅、その後朝課を行っています。

夏休みには小学生の男の子達も親子で参加しに来ました。静かな心で迎える朝は気持ちの良いものです。興味のある方はぜひご参加ください。

平成29年11月
第5号

住職の一言

だんだんと寒さを感じる今日この頃ですが、皆さんいかがお過ごしでしょうか。

最近の私は、朝起きるのが一つの修行となっています。三時半に目覚まし時計が鳴りますが、寒いため、なかなか布団から出られず、自分の怠け心と日々格闘しています。それでもなんとか勤めることができるのは、ともに参禅してくださる方のお陰だと思っています。

お陰といえば、朝のお勤め。

坐禅の後、小三の長男と年長の次男とともに朝のお勤めを行っています。子たちも朝がきついらしく、まだ寝たい、などと文句を言いながら勤めています。たまには休ませてあげたいところですが、私はいつもこう言います。

「私たち家族が生活できるのは、本尊さまや、歴代住職、檀信徒の皆さんのお陰。だから自分の都合は忘れて、ただお陰に感謝して朝の勤めをしなさい。目に見えないものへの感謝は、幸せを得る方法でもある。しっかりと努めなさい」と。

これは私が小さい頃、父によく言われた言葉です。当時の私はこの言葉の意味がよくわかつていませんでしたが、今はよくわかります。目に見えないお陰に感謝できる人は、周りのお陰にも気づけます。お陰に気づき、感謝できる人には、謙虚さが生まれます。謙虚な姿勢で生活すれば、多くの善きご縁に恵まれ、幸せを得ることになるのです。ですから私は、子たちがいつかわかつてくれると信じて、この言葉を言い続けていくつもりです。

阿部 雄峰

ブツダの言葉に学ぶ

(4)

恥じなくてもよいことを恥じ、恥すべきことを恥じない人々は、邪な見解をいたいで、悪いところ

(地獄)におもむく 『法句經』

「恥すべきことを恥じない人」とは、自分中心で周りを気にしない人のこと。そういう人は、周りに迷惑をかけ、結局周りとうまくいかず、地獄に落ちる、というのです。

「恥じなくても、よいことを恥じる」とは、たとえば、人は自分の弱いところを隠そうとします。そしてその弱い所を隠すために見栄をはつたり、嘘を言う人もいます。そのようなことをしていると、自分が苦しくなるものです。逆に自分が弱さを認め、弱いところを周りに「自分はここが弱点なんだ」と伝えることができれば、ずいぶん気が楽になります。自分の気持ちが堂々と伸び伸びします。こちらが弱点を伝えれば、相手も弱点を教えてくれるかもしれません。そうなると、互いの弱いところをかい、いたわることができる、良い人間関係が築かれます。弱点は恥じなくても良いのです。

『菊と刀』(一九四六)という、米国の人種文化学者、ルース・ベネディクトが著した書物があります。その中で、日本文化を「恥の文化」、西欧文化を「罪の文化」といわれています。

「恥の文化」は、他人の目を気にする文化です。他人の目を気にするが故に、間違いはできない、他人の目があるから善行をするという傾向が日本人にあるといわれています。西欧の「罪の文化」は、神に対する罪という内面的な自覚によって間違いを犯さず、善行をする文化だといわれています。

確かに、周りの目を気にする傾向が日本人にはないわけではありません。周りに認められたい、褒められたい、という気持ちは誰にでもあります。しかし、お天道様がみているから、悪いことはできない、善いことしよう、という罪の心も日本人はもつてはいません。ですが、損得だけを考えた生き方では、関わりの中には、利益だけを求める生き方では、存在するかぎり、幸せを得ることはできません。それどころか苦しみ多き人生になります。幸せは関わるものと仲良くしてこそ得るのです。損得の文化ができつつあるそのような時代だからこそ、純粋な心で善行を行い、心通う社会を築いていかなければならないのです。

いずれにせよ、現在の日本人は、この「恥の文化」、「罪の文化」とはまた違う文化があるように思います。あえて言うなら、今の日本は「損得・選り好み文化」です。

自分の得になる時や自分の好きなことに合っている時は善行をするが、逆に自分が損を感じたことや、嫌いなことはしたくない。さらに「悪を為さない」のは、法律で処罰をされ、嫌な思いをし、損をするから。悪を行ってもバレなければ良いという、自分中心の文化ができつつある、そんな風に思うのは私だけでしょうか。

お釈迦さまは、損得で生きている人を恥ずべきことを恥じない人といわれています。仏教はこの損得の文化を嫌い、「心の文化」を目指します。お互いが心を開いて、心を通わせる社会です。お互いに許して和すという、宥和の精神これが仏教の目指す文化なのです。単なる理想だと言われるかもしれません。が、損得だけを考えた生き方、つまり自分の側面だけを見て、決めつけられたように私は感じます。

お地蔵さま作りの会

毎月、ボランティアの方々と二つ二つと作ってきたお地蔵さまのお守りが目標数完成し、本尊様である地蔵菩薩様の前で皆さんとお経をあげました。

このお守りは二月の大般若会に参加された方にお配りする予定です。楽しみにしていてください。



ボランティアとして参加してくれた女の子からのメッセージです。

私はお地蔵さま作りをして「どちらも落ち着くなあ」と思いました。最初は初めて会う人ばかりで緊張したけど、だんだん楽しくなっていきました。

みんなで作つたお地蔵さまはきっとパワーがあると思います。ぜひ大般若会へお越しください。

(甚南小四年生)

ご協力いただきました皆様に感謝申し上げます。

御朱印はじめました

施食会にお越しいただいた方はご存じかと思いますが、八月より御朱印をはじめました。

地蔵菩薩様、薬師如来様の二種類あり、オリジナルキャラクターが可愛いと好評です。集印されている方はぜひお寺にお立ち寄りください。



精進ごはんレシピ



クリスマスやお正月など、友人や親戚が来られた時にお出しすると、おもしろいですよ。

[だし巻き風寄せ豆腐]

材料 (4人分)

木綿豆腐…1丁 大和芋…80g カレー粉少々
A (合わせ味噌…大さじ1 塩…小さじ1/2)

作り方

- ①豆腐を水抜きする。大和芋は皮をむいてすりおろす。
- ②すり鉢に①を入れてよくすり合わせ、大さじ1の水で溶いたカレー粉とAを加えてよく混ぜ合わせる。
- ③ラップに②を細長くのせ、棒状に包んだら、両端をしごいて空気を抜き、中身がでないようになじる。それをアルミホイルで包む。
- ④③を30分~40分蒸し、蒸しあがったらそのままにしておく。さめたら切りわける。

名古屋市 川口 宣子様
あま市 寺田 義彦様
江南市 山田 峰子様
深く御礼申し上げます。

ご寄附の御礼

◆寺子屋講座「法話と写経」

(開講日) 毎月第三土曜日

午後一時～午後三時半

(受講料) 初回千五百円、二回目以降千円
般若心経の内容解説、簡単なイス坐禅、写経。
受講を希望される方は、お寺までご連絡ください。

編集後記

「終わりよければすべてよし」という言葉もあります。よい一年だったと思えるように一日一日を大切に、正しい生活をしてまいりましょう。



お知らせ・募集

◆十二月三十一日(日) 二十三時三十分～除夜の鐘
鐘を打ち、清々しい気持ちで新年を迎えましょう。
温かいおしるこを振舞います。(参加費無料)

◆一月四日(木) 十三時～健康祈願・子ども卓球大会

子どもたちの健康祈願のご祈祷を行い、その後卓球のトーナメント戦を行います。小学生対象。景品あり。

※定員一六名(参加費二百円)

お申し込みはお寺までご連絡ください。

青林山 延命寺

℡ : 490-1115 愛知県あま市坂牧郷30

㈹ : 052-444-0109

※月参り・命日のお参りなど隨時受け付けております。
ホームページを開設しました。最新情報はこちらを御覧ください。
<http://www.seirinzan.com> 検索は青林山延命寺